



かいがら
貝殻はどうやってできるの

あか みず なか およ まわ
カイの赤ちゃんは水の中を泳ぎ回る

カイの赤ちゃんって、どんなものか知っていますか。

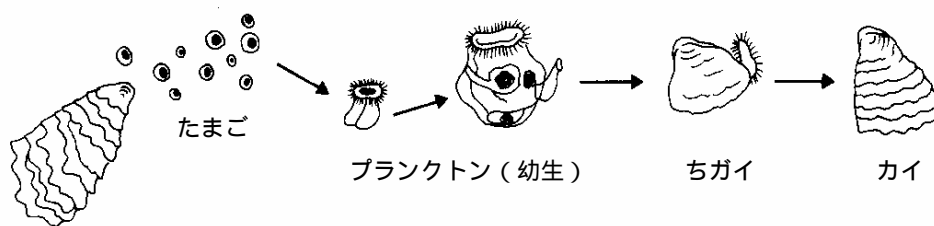
カイは、卵たまごでふえていきます。卵たまごからかえったカイの赤ちゃんは、プランクトンとよばれる、小さい生き物ちい い ものとなって、海うみの中を泳ぎ回ります。このプランクトンは、カイの種類しゅるいによって、きみようなエビのような形かたちをしていたり、すきとおった、小さいクラゲのような形かたちをしていたりします。

かいてい せいかつ
海底で生活するようになる

カイの種類しゅるいによってちがいますが、プランクトンは、何回か、体からだの形かたちを変えながら成長せいちょうしていきます。やがて、海底かいていで生活せいかつするようになり、殻からのない親貝おやがいのような形かたちになります。

かいついちゅう
海水中のカルシウムをとりこんで作る

海底かいていで生活せいかつするところから、殻からを作りはじめます。親貝おやがいと同じ形かたちの、小さい貝殻ちい かいがらつきのカイになります。人間の体にんげん からだが大きくなるにつれて、骨ほねも太く大きくなるように、貝殻かいがらも、大きくりっぱになっていきます。（監修・杉浦 宏）



カイの変身（アワビの例）

